

◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

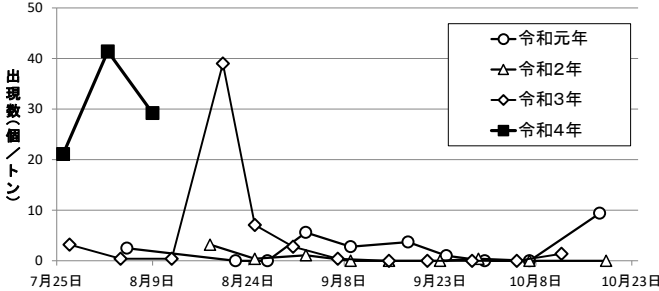
サロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ（シュウリガイ）ラーバは平均で1,067個/トン出現しており、140～150μmの小型個体が増加していました。付着サイズのラーバは29個/トン出現しており、先週よりもやや減少していました。

ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは36個/トン出現しており、例年並みで推移しています。

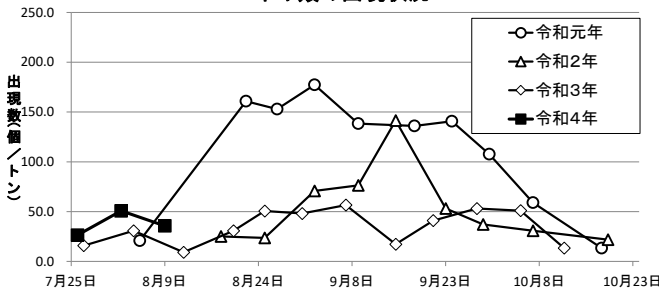
イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	128.8	14.1	474.6	770.1	346.9
150 ~ 160	138.0	32.5	389.4	752.6	328.1
160 ~ 170	211.6	17.0	170.4	420.0	204.8
170 ~ 180	82.8	2.8	73.0	105.0	65.9
180 ~ 190	36.8	2.8	60.8	52.5	38.2
190 ~ 200	9.2	2.8	24.3	0.0	9.1
200 ~ 210	0.0	0.0	0.0	35.0	8.8
210 ~ 220	0.0	1.4	12.2	0.0	3.4
220 ~ 230	0.0	1.4	12.2	35.0	12.1
230 ~ 240	0.0	0.0	24.3	0.0	6.1
240 ~ 250	9.2	0.0	0.0	35.0	11.1
250 ~ 260	0.0	1.4	12.2	0.0	3.4
260 ~ 270	9.2	1.4	12.2	0.0	5.7
270 ~ 280	9.2	4.2	12.2	0.0	6.4
280 ~ 290	9.2	1.4	12.2	0.0	5.7
290 ~ 300	18.4	2.8	24.3	0.0	11.4
合計	662.5	86.3	1,314.3	2,205.2	1,067.1
200 μm以上	55.2	14.1	121.7	105.0	74.0
	8.3%	16.4%	9.3%	4.8%	6.9%
260 μm以上	46.0	9.9	60.8	0.0	29.2
	6.9%	11.5%	4.6%	0.0%	2.7%
ホヤ類	8.1	99.1	12.2	23.3	35.7

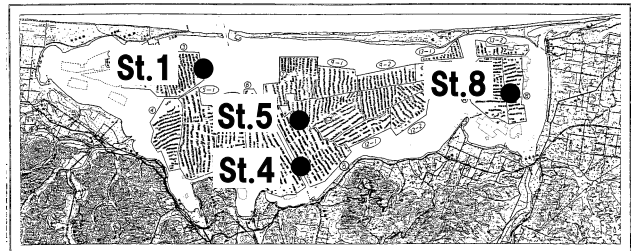
付着サイズのイガイラーバ出現状況



ホヤ類の出現状況



付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

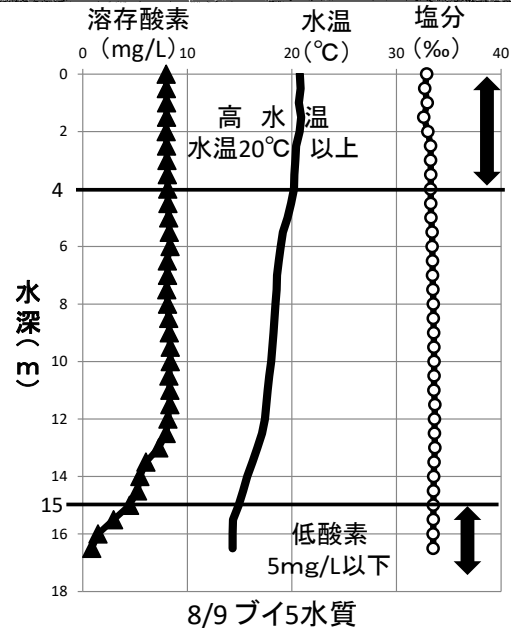
8月9日に湖内中央部ブイ5の水温(°C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は表面から水深4mまでで20°Cを上回っていました。

溶存酸素は底から水深15mまでで5mg/Lを下回っていました。

塩分は全層で32以上でした。

作業の際はブイのデータを注視して行うようにしてください。



8/9 ブイ5水質